



横浜訓盲学院 だより

第57号 (2023年3月号)

2023年2月28日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail : jimu@kunmou.jp

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710 理療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833



学院長 笹野 信治

タラント全開

12月16日(金)に文化庁主催による「寒水・能見ダンスグループ」のダンサーによる公演が本校講堂であり、幼児・児童・生徒、教職員が鑑賞しました。舞台、照明、音響機器などが会場に設置された本格的な公演でした。音楽に合わせて研ぎ澄まされたキレのある迫力一杯のダンスが目の前で繰り広げられ、見る者全てに感動を与えてくれました。本校の児童・生徒は、その公演に先立ち、授業で同じダンスチームの方々によってダンスの指導をしていただいていた。

そして、当日は公演の最後に、ダンサーの方たちと一緒に今まで教えていただいたダンスを踊りました。公演が終わってから、ダンスの主催者の寒水泰江先生にお礼のご挨拶に伺うと、先生は「生徒たちのダンスを見ていて、目や身体に障がいがあるにもかかわらず精一杯踊る姿に感動して涙が止まらないのです」と涙を拭いながら話してくださいました。「ダンスチームの皆さんが手取り足取り生徒一人ひとりに丁寧に教えてくださったお陰です。本番でも立派に踊ることが出来ました。ありがとうございました」とお礼を申し上げました。もちろん、生徒の踊りは、プロの皆さんとは比較になりません。でも、自分の持てる力のすべてを出し切り、ダンスをしてくれました。そのことが、寒水先生の心を動かしたのだと思います。

聖書には、イエスさまが語ったたとえ話に、「タラントのたとえ」という箇所があります。人には、それぞれ神さまから与えられたタラント(能力、才能)がある。その与えられたタラントを精一杯使うことが尊いのだと語っています。目や身体が不自由であるにもかかわらず、最後まで踊りきった子どもたちのことをイエスさまも「よくやったね」と喜んでいてくださっていると感じました。



「受けるよりは、与える方が幸いである。」

使徒言行録第20章35節

《3月の聖句》 人から何か援助してもらうことは幸せですが、人に何かをしてあげることの方がもっと幸せです。

関東地区盲学校陸上競技大会

11月11日(金)、数年ぶりに三ツ沢競技場で開催された陸上大会に本校からは普通部の生徒4名が参加することができました。2ヶ月ほど前から、クラブの時間や、朝・昼の時間と多くの時間を使って練習に励んだ生徒たち。本番では、大きな会場を目の前にし、いつもとは違う緊張感を抱きながらも楽しんでいる様子がみられました。



1500m走、200m走、100m走、50m走、ソフトボール投げの各競技に参加した生徒たちは、練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい結果を残すことができました。帰りのバスの中では、「頑張ったよね」と仲間同士で励ましあう姿があり、達成感を味わうことのできた大会になりました。



PTAバザー

11月19日(土)、PTAバザーを3年ぶりに開催することができました。今回は感染拡大防止に留意し、学校関係者のみでの小規模開催となりました。



普通部の各グループのコーナーには、幼児・児童・生徒がこの日のために作った可愛い手作り製品が並びました。保護者ブースでは、わたあめやポップコーンの販売、お菓子釣りコーナーなどの出店がありました。皆で順番に買い物をしたり、お店番をしたりしました。理療科の先生や生徒の皆さんも来てくださり、どのお店も大盛況でした。

コロナ禍で未だ行事の中止や縮小が続きますが、日頃の学習の成果を披露する機会になり、良い学びの場にもなりました。事前からご準備いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



収穫感謝祭の様子

学院では昔から、収穫感謝礼拝に合わせて教職員・在校生より献金を募り、日ごろお世話になっている方々にお花をお届けしています。今年度は11月17日(木)に収穫感謝礼拝が行われました。



新型コロナウイルス感染症対策のため、全員が集まって礼拝を行うことはできませんでしたが各グループに分かれ、教員、幼児・児童・生徒みんなで、周囲の方々の支えと神さまのお恵みに感謝し、お祈りをお捧げしました。

学院では、献金で集まったお金でシクラメンを購入し、いつもお世話になっている学校医、山手駅、東洋観光(スクールバス)、柏葉公園ログハウス、おはなしボランティアさん等にお渡ししました。

幼小グループでは毎日、給食のお弁当を作って運んでくださっている「食彩工房」の方に、児童がお花をお渡しし



て、感謝のことばをお伝えすることができました。



クリスマス祝会

12月24日(土)、クリスマス祝会を開催しました。今回は、感染症対策を講じながらも、3年ぶりに全ての発表を講堂の舞台上で行うことができました。ステージと客席、リモート観覧会場が一体となり、笑顔あふれるにぎやかな祝会になりました。



今回ページントを担当したのは、高/生グループ。クリスマス祝会に初めて参加する生徒もいたため、クリスマスの由来やイエス様生誕にまつわる言い伝えについて事前に学んでから演技に臨みました。それぞれの役の演技はもちろんのこと、ナレーション、鈴の演奏など、6人全員が力を発揮し、気持ちのこもったステージを披露してくれました。



花の宅配便事業



1月26日(木)、日本フラワーデザイナー協会様による「花の宅配便事業」が開催されました。

前々日に日本フラワーデザイナー協会名誉本部講師の若松静子先生をはじめ3名の先生方にご来校いただき、事前準備としてのお花のサンプル作りなどをしていただき当日を迎えました。

当日は若松先生をはじめ15名の先生方が、子どもたちにお花のアレンジメント作りを丁寧に優しく教えてください、子どもたちは真剣に取り組み作品は皆上手に出来上がっていました。



お花に触れる機会を与えてくださいました日本フラワーデザイナー協会様、先生方ありがとうございました。



サッカー教室開催

1月27日(金)、F・マリノススポーツクラブ様によるサッカー教室を開催しました。

前身である横浜マリノス(株)ホームタウンふれあい事業部様によるサッカー教室から始まり、今回で3回目の開催となりました。

当日は多くのスタッフの方々にご来校いただき、子どもたちにサッカーの楽しさ、身体を動かす楽しさ、そしてスポーツの楽しさを教えていただき、あっという間の2時間でした。



子どもたちはもとより、教職員も楽しませていただきました。サッカー教室を開催していただき感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



視覚障がい

ミニ知識

信GO! システム

昨年3月から、神奈川県内でも信号機の色をスマートフォンで通知するシステム「信GO!」が導入されました。これは、今いる交差点の歩行者信号の情報の「青」、「赤」、「青点滅」を、スマートフォンからの音声・振動・画面表示で知ることができる歩行者支援アプリです。また、交差点名称や方向名称も音声で確認することができます。スマートフォンに無料のアプリを入れることで利用できますが、信号機に歩行者等支援情報通信システム(高度化PICS)が整備されていることが必要で、普及にはまだまだ時間がかかりそうです(2022年10月現在県内24交差点)。

一般的に、視覚に障がいのある人はどのように信号を横断しているのでしょうか。すぐに思い浮かぶのは「カッコー」や「ピヨピヨ」という音の出る信号機(音響装置付き信号機)かもしれません。これは、信号が青になったタイミングを横断者に伝えるもので、民放ラジオで「通りゃんせ基金」などのキャンペーンをしていることでも知られています。

信号機にこういった設備がない場合、主に車や人の動きを耳で聞いて判断して横断します。深夜や早朝など人の流れがない時間帯は、赤信号で渡ろうとして危ない目に遭うことも少なくなく、大きな課題になっています。

(参考:神奈川県警察本部HP、社会福祉法人日本視覚障害者団体連合HP)

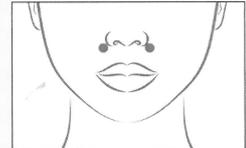


鼻の通りを良くするツボ

まだまだ寒い日が続いています。この時期になると鼻症状のトラブルに悩まされる人も多いかと思えます。慢性鼻炎、花粉症などのアレルギー性鼻炎でお困りの皆様へ鼻の通りを良くするとされているツボをご紹介します。

入浴中やテレビを見ている時など、手が空いている時間を見つけて1日数回ツボを押してみてください。すぐに効果が実感できることもあります。効果を感じにくい場合も継続して押してみてください。また、鼻の症状以外にもお悩みのことがありましたら、お近くの治療院や、当学院で行っている臨床実習を受診してみてください!

経穴名	迎香(げいこう)
意義	鼻の通りを良くし、香りを迎えるという意味がある
部位	左右の鼻のもっとも膨らみあるところから外側で、口元にできるしわの所にある
押す強さ	押されている感覚と痛みを感じる感覚の間くらいの強さで押す



臨床実習のご案内 (2023年3月1日 ~15日の期間について)



★あんま・マッサージ・指圧・はり灸★
(水・木・金曜日)

当学院の理療科では、授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり・灸の臨床を行っています。是非ご利用下さい。

料金

一律 1,000円

時間

11:00~(50分)

◆ご予約はお電話で!

当日の朝 8:50~9:15

電話090-9009-5882

◆お問い合わせは

理療科まで

電話045-662-1833

※1)新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。
2)2023年4月以降の実施日や時間等につきましては、お問合せ下さい。

院外臨床実習のご案内

院外臨床実習とは、学院臨床室以外の場所で生徒たちが行う実習です。日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年、学院周辺の町内会館にてマッサージを行なっています。是非ご利用下さい。

2023年 3月8日(水) 柏葉町内会館

料金: 無料 9日(木) 麦田地域ケアプラザ

◆お問い合わせは各町内会まで◆

※新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。

国家試験

2月25日(土)、26日(日)に第31回あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師国家試験が行われ、今年度は2名の理療科生徒が現役受験生として臨みました。3年前の入学からスタートした受験勉強の集大成でしたので、今はホッと一息ついていることと思います。

一昨年度から問題数が10問増えました。さらに、特定の科目に分類しづらい応用問題も増え、難易度は高くなってきています。全員合格を目指し、理療科みんなで取り組んできました。

合格発表は3月24日(金)です。受験した全生徒が資格を取得し、本当のスタートが切れるよう、教職員一同心から願っています。



《今後の行事予定》

3月 17日(金) 2022年度卒業式・修了式
20日(月)~春休み

4月 3日(月) 理療科新入生オリエンテーション
10日(月) 2023年度入学式・始業式

《2023年度生徒募集》

◎募集定員 (各部若干名)

【普通部】 幼稚部・小学部・中学部
高等部普通科・専攻科生活科

【理療科】 高等部専攻科保健理療科
高等部専攻科理療科

◎募集期間《二次募集》

普通部、理療科ともに3月3日(金)まで随時

◎お問い合わせ 代表 TEL.045-641-2626

— ご協力をお願い —

〔2023年度 賛助会員〕

私どもの視覚障がい教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお願ひ申し上げます。

【年会費】 法人(1口)10,000円/個人(1口)1,000円(口数は問いません)

【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名] 学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
・現金

【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。

寄付金控除については「所得控除制度」と「税額控除制度」のいずれかの制度をご利用いただけます。

【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626